



未来を担う子どもたちへ福祉の WA を紡ごう PJ

私たちが取り組んでいる『未来を担う子どもたちへ福祉の WA をつなげようプロジェクト』オレレンジコロムマイスターは主にコロムグループの小規模多機能ホームふたみ・グループホームふたみの方々と協力し、認知症の啓発を地域の人々に行っていくと考えています。

また、活動していく過程で関わった人々にこういった地域内の身近な課題について考えてくださる人が増えてくれることを目標にしています。

現在行った活動は顔合わせやミーティング、勉強会を含め9回、最近行った本格的な活動としては、8月22日、23日に二見の学童クラブにて認知症の啓発活動を行いました。

内容は『認知症』という言葉が極力少なくし、お年寄りとは、年をとるとどんなふうになるのか、困っているお年寄りがいたらどのように対応するのが適切かを、内容を噛み砕いてゲーム等で伝えました。

流れとして、1. 紙芝居 2. 体操 3. 福祉カルタと、子供たちには話を聞くよりも体を動かして考えてもらう形になっています。

8月28日は御園の学童クラブ。こちらの子どもたちとは施設としても初めての試みで少し流れを変え、1. 紙芝居、2. 新聞紙を使った言葉探し、3. 危ない所探し、と3つのチームに分かれて行ないました。

まだ活動を始めたばかりで、対象も小学生の子供達のみですがこれからはいきいきサロン等の方々に協力していただき、大人を対象にした活動も勉強しつつ頑張っていくと考えています。



活動実施主体：介護複合センターふたみ
(小規模多機能ホームふたみ、グループホームふたみ)
担当教員：山路 克文 (現代日本社会学部)